

はじめに

群馬大学共同教育学部附属小学校 校長 渡部 孝子

昨年度の公開研究会は、新しい時代の研究公開の在り方として、オンラインを活用したハイブリッドでの形式で開催しました。今年度も同様に、授業公開は事前に動画で配信し、後日授業研究会をオンラインにて実施します。様々な点において、限定的な開催となりますが、ご理解、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

さて、昨年度の研究テーマは、「社会に変革を起こす子どもの育成（一年次）～情報活用の視点から行う授業改善を中心に位置付けたカリキュラムマネジメント～」としておりました。「社会に変革を起こす」資質・能力を育成することは、子どもたちが現在、そしてこれから生きていく先の見えない不確実な社会の中で、「つよく たくましく かしこく」立ち向かう力を身に付けることでもあります。「社会に変革を起こす子ども」を育成するためには、問題解決に必要な多様な情報を活用し、自分の考えを伝え、他者の考えに影響を与えるための学習指導の工夫が求められます。昨年度より「一人一台タブレット」が導入され、本校では、あらゆる授業において子どもたちがタブレット端末を活用しながら、学びを深めています。単に、ICTを活用し、情報を集めるだけではなく、ロイロノート、Google forms、Jamboard等の活用により、自分と他者の考えを共有・比較し、互いに影響し合いながら、学びのシナジーを生み出している姿が見られます。そこでの成果は、『ICT活用実践事例集』をご参照くださいますよう、お願いいたします。

今年度の研究テーマは、「社会に変革を起こす子どもの育成（二年次）～『非認知的能力』を高める学びのデザインを通して～」といたしました。「社会に変革を起こす子ども」の育成を図るため、そして、中教審が掲げる「令和の日本型学校教育」の姿にある【個別最適な学び】や【協働的な学び】の視点を考慮した学びのデザインを試みています。特に、今年度公開する授業においては、各教科等部が重視する非認知的能力を発揮できるようにするために様々な工夫が取り入れられています。

最後に、今年度も群馬県教育委員会及び市町村教育委員会の先生方をはじめ、群馬大学共同教育学部の先生方から貴重なご指導・ご助言を頂戴しました。教職員を代表致しまして、厚くお礼申し上げます。また、次年度以降の研究に生かすために、皆様から忌憚のないご意見やご感想等をいただければ幸甚です。どうぞよろしくお願い申し上げます。